

「北九州SDGs登録制度」申請書

北九州市長様

所在地 北九州市小倉北区大畠2-10-1

団体名 株式会社九州造園

代表者 代表取締役 藤田良司

「北九州SDGs登録制度」について、関係書類を添付の上、下記のとおり申請します。

団体概要

(ふりがな)	かぶしきかいしゃきゅうしゅうぞうえん	
団体名	株式会社九州造園	
(ふりがな)	だいひょうとりしまりやくしゃちょう ふじたりょうじ	
代表者氏名	代表取締役社長 藤田良司	
所在地	市内事業所	北九州市小倉北区 大畠2丁目10番1号
	主たる事業所	同上
事業概要	造園工事業、土木工事業、 指定管理業務	
企業・NPO法人等の別	企業	
業種（企業のみ）	建設業	
従業員数（企業のみ）	21～50人	
ホームページの有無	有	
ホームページURL	https://www.kyushuzoen.com/	

連絡先

担当部署	工事部
担当者	山崎 祐紀
電話番号	080-8575-1102
メールアドレス	yamasaki@kyuzo.co.jp honsya@kyuzo.co.jp

提出書類

- ・様式1：SDGs達成に向けた取組状況（チェックシート）
- ・様式2：SDGs達成に向けた宣言書
- ・様式3：SDGsの達成や地域課題の解決を目指すパートナーシップ構築に向けて
- ・【北九州SDGsクラブ未入会の場合】クラブ参加登録申込をWebにて行ってください

SDGs達成に向けた取組状況（チェックシート）

企業名 株式会社九州造園

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット			具体的な取組内容	最も関連性のある ゴール・ターゲット	最も関連性のある 「北九州市基本計画」 の指標や取組
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (CO2削減)	エコアクション21認証制度					ゴール ゴール13 ターゲット 13.3	指標 ⑩ 具体的な取組 29
				7.2	9.4	13.3			
									
				9.4	12.3, 12.5	13.3			
2	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行ってい る。 3R（リデュース、リユース、リサイクル）を実施するなど、循環型社会 の構築に取り組んでいる。	環境 (廃棄物削減)	エコアクション21認証制度					ゴール ゴール13 ターゲット 13.3	指標 ⑪ 具体的な取組 27
				9.4	12.3, 12.5	13.3			
									
				10.2	12.2	13.3			
3	事業に伴う調達（原材料、部品、資材、サービス、使用的する設備や事 務用品等）について、環境負荷や人権などに配慮している。	環境・社会 (サプライ チェーン管理)	エコアクション21認証制度					ゴール ゴール12 ターゲット 12.2	指標 ⑪ 具体的な取組 27
				8.2	9.5	12.5			
									
				7.2	9.4	13.3			
4	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向 上や新たな技術の開発等に取り組んでいる。	経済・社会 (技術向上)					ISO9001:2015を取得し、品質向上のPDCAサイクルに取り組んでいる。	ゴール ゴール9 ターゲット 9.5	指標 ⑯ 具体的な取組 12
				8.2	9.5	12.5			
									
				7.2	9.4	13.3			
5	環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につながる 商品やサービスの提供に取り組んでいる。	環境・経済 ・社会 (商品開発)	エコアクション21認証制度				ISO9001:2015を取得し、品質向上のPDCAサイクルに取り組んでいる。	ゴール ゴール13 ターゲット 13.3	指標 ⑪ 具体的な取組 27
				7.2	9.4	13.3			
									
				3.4	5.5	8.8			
6	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、良好な 労働環境の整備に取り組んでいる。	経済・社会 〔労働環境 整備〕					ICT活用工事を含め、業務の効率化に取り組み、残業時間の減少に取り組んでいる。 また、ISO9001の取組の一部として、ISO委員会による会議や内部監査により支援プロセスの監視を行 う事で、労働環境の整備に取り組んでいる。	ゴール ゴール8 ターゲット 8.8	指標 ⑭ 具体的な取組 7
				3.4	5.5	8.8			
									
				5.5	8.5, 8.8	10.2			
7	年齢、性別、国籍、障害の有無等による不当な差別を防ぐ体制の整 備や人権教育等に取り組み、女性活躍など、多様な人材が活躍でき る環境の構築に取り組んでいる。	社会 〔ジェンダー 平等〕					福岡県子育て応援宣言に登録し、授業参観休暇を設ける等、実施している。	ゴール ゴール8 ターゲット 8.5	指標 ⑪ 具体的な取組 33
				5.5	8.5, 8.8	10.2			
									
				5.1, 5.4	8.8				
8	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメントなど、あ らゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な 職場環境の構築に取り組んでいる。	社会 〔ハラスメント 防止〕					ISO9001の取組の一部として、ISO委員会による会議や内部監査により支援プロセス:プロセスの運用 に関する環境の監視を行う事で、社会的要因、心理的要因、物理的要因の観点から不適合を解消する ようにしている。	ゴール ゴール8 ターゲット 8.8	指標 ⑯ 具体的な取組 6
				5.1, 5.4	8.8				
									
				3.4	8.8				
9	疾病予防や早期発見、感染症防止などの衛生対策を講じるとともに、 良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでい る。	社会 (健康経営)					ISO9001の取組の一部として、労働環境を監視している。 また、年1回の健康診断を実施しており、疾病の早期発見を促している。 夏季は、熱中症対策のために飲料の支給、空調服の支給等の対策を重点的に行っている。	ゴール ゴール8 ターゲット 8.8	指標 ⑯ 具体的な取組 32
				3.4	8.8				
									
				4.4	8.2, 8.6	17.17			
10	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、 社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受け入れなど、社 内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。	経済・社会 (人材育成)					ISO9001の取組の一部として、7.2 力量 により監視し、PDCAサイクルを回し、社員のスキルアップを図っ ている。 また、高校生のインターンシップの受け入れや、現場見学会を実施し、将来的な技術者の育成に力を入れ ている。	ゴール ゴール4 ターゲット 4.4	指標 ⑯ 具体的な取組 5
				4.4	8.2, 8.6	17.17			
				16.1, 16.3, 16.5					
11	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄・不正競								

SDGs達成に向けた宣言書

宣言日 令和 7 年 8 月 5 日

団体名 株式会社九州造園

私たちは、SDGs の内容を理解し、SDGs の達成に向けた方針及び取組を以下のとおり宣言します。

◆ SDGs達成に向けた取組方針等

造園工事の設計、施工、維持管理を通じて、地域社会の貢献、環境負荷の低減に取り組みます

◆ SDGs達成に向けた重点的な取組

達成を 目指す分野 に「○」		SDGs達成に向けた 重点的な取組	指標（KPI）・目標値 ※目標値は、いずれかの目標年で 設定してください。		最も関連性のある 「北九州市基本計画」との関係	
					最も関連性のある重 点戦略との関係	
経済	○	ICT活用工事を推進し、新技術の積極的な使 用、活用を目指し、導入した技術の熟練と継 承を行う	指標 (KPI)	ICT関連の技術普及	稼げる まち	○
社会	○		目標値		彩りあ るまち	○
環境			2030年 (その他の場合) ()年	新技術を活用する人材 を社内で3名以上 育成	安らぐ まち	5 若者のチャレンジへの支援
経済			指標 (KPI)	年間受け入れ人数	稼げる まち	指標 ⑧
社会	○		目標値		彩りあ るまち	○
環境			2030年 (その他の場合) ()年	3人以上の受入れ 又は 3回以上の 職場見学会	安らぐ まち	22 魅力ある新時代の教育機関の誘致
経済			指標 (KPI)	二酸化炭素排出量 (原単位)	稼げる まち	指標 ⑭
社会			目標値		彩りあ るまち	○
環境	○		その他 (その他の場合) 2027年	令和6年度を基準に 原単位によるCO2排 出量を3%削減	安らぐ まち	29 誰もが安心して暮らせる環境づくり

記載について

- 「SDGs達成に向けた重点的な取組」は、3つまでご記入できます。
- 必ず全ての分野（経済・社会・環境）の達成を宣言してください。
(1つの取組みで3つの分野を達成しても、複数の取組みで3つの分野を達成しても構いません)
- 指標（KPI）は、原則として数値目標を記載してください。

SDGsの達成や地域課題の解決を目指すパートナーシップ構築に向けて

団体名：株式会社九州造園

SDGsの達成や地域課題の解決に、パートナーシップを通じて取り組むために、自らの組織が提供できる価値や必要としているものについて記入してください。

◆1)自らの組織が提供できる価値(商品・サービス・ノウハウ)

誰の (企業・自治体・教育機関・団体・市民など)	どんな課題に対して どんなSDGsゴールに対して	何を使って	何が出来るか	キーワード(3つ～5つ程度) ※1行に1個ずつ記載してください (選：温室効果ガス削減・働き方改革など)
高校生 地域住民	若手技術者の技術力	インターンシップ 現場見学	人材の育成、技術の伝達	高校生 人材育成 若手技術者 環境配慮 二酸化炭素排出量削減 防災 ICT活用工事 DX 若手技術者 業務効率化
市民 自治体	環境配慮のまちづくり	環境に配慮した造園技術 グリーンインフラ技術	緑化、二酸化炭素排出量削減 防災	
同業他社	ICT活用工事の普及	ICT活用工事の経験、知識、技術	ICT活用工事の普及に伴う 業務の効率化、業界全体の人員不足の解消	

◆2)自らの組織が必要としているもの(商品・サービス・ノウハウ・連携先)

解消したい地域課題・達成したいSDGs目標	自分たちの組織に不足している要素 (人材・製品・サービス・ノウハウ・技術・連携先・資金)	どのような利害関係者と (企業・自治体・教育機関・団体・市民など)	課題を解決するために何をしたいか	キーワード(3つ～5つ程度) ※1行に1個ずつ記載してください (選：温室効果ガス削減・働き方改革など)
ICT活用工事の普及	ICT技術を使用できる技術者	同業他社	ICT活用工事を基に技術の相互発展	ICT活用工事 DX 若手技術者

記載について

・1)および2)の各項目について具体的な内容を記載して下さい。